



園長 引地美津代

先月、「セミの声は準備中です」といった次の週から蝉の大合唱が始まりました。夏は蝉の声から始まり赤とんぼの到来で秋を感じます。季節を知らせてくれる虫も子どもたちの生活には欠かせないものです。園庭の片隅にある畑にサトイモやかぼちゃが植わっています。今年はまたどんな収穫があるのでしょうか。楽しみです。作物を育てるために雑草を抜いていると「園長先生、どうして葉っぱ取るの？」と質問されました。おいしいお野菜を育てるには、ちょっとこの葉っぱにはお休みしてもらわないと・・・と説明しながら子どもには分別は難しいと雑草を抜く手が進みませんでした。すると春に見つけた時、1cmくらいだったかまきりが5センチくらいになって葉っぱの陰から登場・・・「お～元気にいたのね・おおきくなったね～」と5歳児。どうもずっとここにいること。知っていたようです。知らない友達が「あみ～！！カゴ～！！と大騒ぎしているのを少し遠めで見て「優しく捕まえてあげてよ」と大人のようなアドバイスをしていました。自分が知っている出来事やどうしたらよいのか分かっていることに会っても経験していることには冷静に判断できるようになったんだな～と。やり取りを聞いていました。でも皆でわいわい盛り上がっている様子を見るとじっと傍観できず「見せて～！！」と走っていきました。もしかするとみつけたかったの？と思いながらちょっとほっとした一コマでした。

夏の遊びは水遊びから始まり泥んこ・虫探し・観察・絵の具やしゃぼん玉など。子どもたちが一番わくわくする季節です。今年は8月から園庭にも毎日子どものリクエストにお答えして、コーナーに遊びグッズを準備し選択して遊べるよう環境を作ります。どんな遊びが展開できるか楽しみです。また、2階のアートコーナーも少しずつ準備できてきました。まずは、絵の具のコーナーの環境を整え進めていきます。どんなアトリエになるかお楽しみに・・・

かえで保育園で栽培中



サトイモ



レモンの木



オリーブの木



ぶどう

お知らせ

- ・保護者の方から、スマートフォンでの連絡を楽しみにしているが最近入らないので情報が入りにくい。と相談がありました。保護者の方々のラインでの情報共有は難しいです。よい子ネットで必要な情報はお伝えしますので確認ください。
- ・外遊びが盛んになり、子どもたちがたくさん集まるとそれに気付いて集まってくるのが「蚊」です。保育園の「蚊対策」は完全に駆除することは難しいですが、業者による薬剤噴霧・蚊取り線香の設置、身体に優しい虫除けを付けることで対応しています。お子様によって様々ですが過剰に反応したり、よくさされるお子様は長袖着用をしてもらっています。友人から、蚊を寄せない網の服を紹介いただきました。事務所に見本を置きますので参考にしてください。
- ・最近足の裏にとげが刺さるお子様が増えました。点検しましたが原因が分かりません。(芝生の可能性が高い)今後も設備点検を進めていきますが、帰宅後、お子様の足の確認をしていただきたいと思います。

にこにこメッセージ♪

藤森 寿美

先月園庭でそうめん流しを行いました。

職員会議の中で園長先生から「七夕の笹に続いて、松秀幼稚園の園長先生にそうめん流し用の太い竹を頂けることになったので、園庭でやってみましょう」と提案がありました。「そうめん流し？本物の竹で？どんな感じ？」と体験したことのない職員もいましたが、“ウキウキワクワクしながらどんな感じになるのかな？”と計画が進んで行きました。衛生面などの配慮も必要でありましたが、できるだけ子どもたちにとっても十分楽しめる経験になるように入念に計画を進めました。あいにくのお天気でしたが、朝からお声がけした保護者の方にお手伝い頂き、準備を行いました。竹の上部から水を流す担当の人、同時にそうめんを流す人、流れてきたそうめんを必死に受ける子どもたち、だいち組の子どもたちは、食べるばかりでなく、子ども同士で声をかけあいながら、流すことを楽しんだり、竹を割ったり削ったりして、お箸作りも経験しました。“またやってみたい”というような体験をこれからも取り入れていきたいと思えます。お手伝いいただいた“ダンディタイム”の保護者の方々ありがとうございました。みなさんも子どもたちといろいろな“夏”を楽しんでください。

～めばえ・ふたばのお願い～

健康調査票の記載がない場合、確認のため職場に連絡をさせて頂く場合があります。

～つぼみぐみからのお願い～

プールバックの中にビニール袋をいれて下さい。
水着をお返す際、使用します。

～幼児からのお知らせ・お願い～

名前の無い服をよく見かけます。

同じ洋服を着ていることもありますので、必ず記名をお願いします。

下着や着替えの補充、プールのない日もタオルの用意をお願いします。

せんせいからのおはなしコーナー

最近の私のマイブームは“ヨガ”や“ジム”に行くことです。ダイエットは出来ないので趣味程度に通うほどですが身体を動かしてスッキリする感じにはまり気が向いたときには通うようになりました。小学生のころはバレエをしていたこともあり体は柔らかい方でしたが、やめてからは何一つ柔軟体操をしていなかったのが驚く程かたくなっていました…。今はヨガで少しずつ身体を柔らかくしようと頑張っています。ヨガをして心を落ち着けたり、思いっきり汗をかくのがとっても楽しいです。

まだまだ気温も暑くなってきましたが元気いっぱい子どもたちに負けないように体力をつけていきたいと思えます。

足立 真裕子

働き始めた頃にデジタル一眼レフを買いました。はじめは、綺麗な写真が撮りたいという思いで購入し、使っていました。ですが、出かけるときにカメラを持って行き写真を撮っていく度に、写す角度や背景に選ぶ場所、タイミングなども少し考えるようになりました。以前に淡路の花さじきに行ったときには、何時間かかるのかと思うほど様々なところで、可愛い写真や自然を感じる写真を撮る休日を過ごしていました。先日は、花火大会に行き、一眼レフで初めて私の思う良い写真が撮れてとても満足して帰ってきました。プライベートで大活躍の一眼レフですが、自然と保育園の中でも子ども達の素の表情を撮ろうと意識するようになりました。カメラを通じて見る、子どもの新しいものを発見した時の表情や熱中しているときの表情は、子どもたちの気持ちが伝わってくるように感じました。これからできるだけ園生活のなかでの素敵な表情をたくさん撮って、見ていただきたいと思っている今日この頃です。お家でしか見せない子どもたちの可愛い表情もたくさんあるので、これぞ可愛い写真が撮れた時は、ぜひ見せてくださいね。

須藤 聖美

ねらい：「水を体いっぱい感じてあそぼう」

う た：「きらきら星」「おふねがぎっちらこ」「いっぼんばし」

外に出ると、子どもたちの声も聞こえないくらいのセミの鳴き声が聞こえてくる季節がやってきました。お部屋の中にも窓を少し開けるだけで、部屋中セミの声でいっぱいになるほどです。保育園で過ごす初めての夏、顔から汗がだらだら落ちるくらいに汗をかいて園庭あそびをしています。園庭での行動範囲も広がってきて、自分の行きたいところにどんどん動いて興味のあるものを見つけて遊べるようになってきました。

“虫との出会い”



園庭遊びをしていると、砂場のところにカナブンを発見。ちょこちょこ動く物体を不思議そうに眺めていました。子どもたちの目の前まで持っていくと、眉間にしわをよせながら見つめる子や、体ごと反対を向いて嫌がり泣いてしまう子もいました。でも一人が触ってみると、少し安心したのか触ってみようかなと興味を持ち始める子が出てきました。自分の腕にのぼっていると、手をぶんぶん振って急に焦り出す子、遠くにいったしまったカナブンを見て、指をさしてにこにこ笑っている子、表情を見ているだけで、幸せな気持ちになりました。



“水を感じよう”

プールあそびを始める前、園庭あそびの時に、タライに水を少し張って水あそびをしました。みんなの前に水の入ったタライを置くと、一斉に両手で水をバシャバシャ触りだします。控えめに指で触ってみる子や、少し怖くて触れない子もいましたが、みんながバシャバシャしている様子を嬉しそうに見て、水を怖がる子はいないようです。顔におもいきりかかっても平気なようで、嬉しそうにみんなでバシャバシャ、服はびしょびしょになってしまいました。日差しに気をつけながら、水あそびを楽しんでいきます。



“担任の思い”

園庭に出てあそんでいると、毎日のように初めてのことに会う子どもたちです。普段私たちが見ないようなところに興味を持っていたり、初めてのことからその反応に思わず笑ってしまったり、今しか見ることのできない子どもたちの姿に私たちが教えられることもたくさんです。色々な経験をして、色々な発見をして、心も体も大きくなってほしいなと思います。

8月になり、これからどんどん夏本番の暑さになってきます。天気の良い日にはめばえ前のテラスに出て、みずあそびをゆっくり楽しみたいと思います。

～ふたばくみ～

ねらい：「水遊びを楽しもう」

う た：「シャボン玉」「きらきら星」「むすんでひらいて」

わらべうた「いちめど」「オッタコ」「つつきましよう」

園庭に出るとよーいどん！と砂場に向かって元気よく走り出すふたば組。

砂場でそのままごとが始まり、アイスクリームやご飯作りを楽しんでいます。

室内でもままごと遊びが広がり、好きな色のお皿を選びいろんな具材の中から好きなものを選ぶ姿は真剣。スプーンで「どーぞ」「見て」とお互いに作ったものを渡す姿も増えてきました。

～片栗粉粘土～

園庭に出ようとすると、ビニールシートにタイヤがたくさん。

いつもと違う様子に何が始まるのと集まってきました。保育者を不思議そうに見つめていました。

片栗粉に水を入れると固まっていたものが溶ける姿、白くとろとろする様子を見ると

「ちょうだい！」「触ってみたい！」と手を差し伸べる子、触ってみたいけどじっと見つめる子

他の友だちがしている姿を見てやってみたいと来る子、不思議な感触が手につくとびっくりする子もいました。

手や腕にたくさんつけ「みて！」「ばあ～」と片栗粉がついた手を満面の笑みで見せてくれました。



～ん？これは何の音？～

静かな部屋の中でおやつを食べながら

「おいしいね」と話していると“ぼつぼつ”

と雨の音。とても天気がよく晴れていたのに音がだんだん強くなり

“ざーざー”と激しい雨の音に変わりました。

外に出ること出来ないねと話していると…

「あめ！あめ！」と雨の音を聞いてぼつぼつ、ざーざねと

外の雨の様子をみて子ども同士で話をしたり

しばらくじっと眺めて思い思いに雨の音を楽しんでいました。



“担任の思い”

大人ならあまり気にしない雨の音や片栗粉粘土での感触。子どもたちは日々の生活の中、些細なことを不思議に感じて発見し、楽しむことを子どもたちの様子やことばで改めて知ることができました。

これからもっと暑くなります。水遊びやプール遊びなどで夏を感じて、今しか出来ないことをいろんな場所で発見しながら過ごすことができたらと思っています。

西口智子、日笠加菜、林千紗

～つぼみぐみ～

ねらい：「水の気持ち良さを知り、水遊びを楽しむ」

う た：「うみ・ありさん」 わらべうた「かごかご」

プール遊びや水遊びが本格的に始まりました。暑い日のプール遊びは気持ちよく子どもたちは元気いっぱい楽しんでいます。最近ではトイレに行く時も、着替える時も「〇〇ちゃんと一緒にがいい」と言いながら、友達を意識することも多く、一緒にすることで様々な意欲への繋がりも見えてきました。暑い日は熱中症など体調を崩しやすいので水分補給や休息をこまめに行い、楽しい夏を過ごせるようにします。



～やる気満々～

つぼみぐみのみんなが楽しみにしていたプール遊びが始まりました。体操でのプールが始まる前から他のクラスが入っている様子を出窓から眺め、「もうすぐはいるの?」「よしよしせんせい(吉井先生)もはいるの?」と興味津々。普段の体操もみんな大好きですが、今夏初めてのプールということもあってみんなやる気満々!準備体操でも一生懸命わくわくしながら取り組みました。



外遊びの時の水遊びで普段は顔に水がかかるのが苦手な子もプールの中では大きな水しぶきがあがってもにこにこでした。みんな足をばたばたさせて遊んだことや水をたたいてワニをやったことなどは食事のときも保育者にずっと話してくれる程楽しかったようです。これからもプール遊びを楽しみたいと思います。



～「あそぼうよ」～

お部屋でも園庭でも電車ごっこや水遊びなどで楽しそうに遊んでいる友だちを見つけるとすぐに真似をして一緒に遊び始めます。その中で「あそぼー」「なにしてるん?」「いっこちょうだい」と子ども同士で話をするが増えてきました。おもちゃを譲り合う姿やままごと遊びで「ヨーグルトみたいやね」とみたてで遊んだり、柱と柱の間に立ち「ここがいりぐちだよ」と想像しながら遊んでいます。面白い会話が早く聞け、思わず笑ってしまうときがあります。子どもたちが想像し、イメージしながら遊ぶ中で子どもの気付きなどに寄り添って楽しく遊べるようにしていきたいです。



“担任の思い”

言葉で思いを伝えることが少しずつ出来るようになってきているつぼみ組。泣いている子がいると傍にいき、顔を覗き込みながら「大丈夫?」と聞いてあげたり、友達の気持ちを考えてあげようとする姿が見られるようになってきています。一人ひとりの言葉を聞いて拾っていくと、考えていることや友達に伝えたいことは子どもが素直に感じていることであり、その子どもの気持ちを大切に、言葉にして伝えることができるように手伝っていきたいです。友達を思いやる気持ち、心配する気持ち、友達を好きだと思ふ気持ち、子どもたちの色々な気持ちに触れ、一つひとつをより一層意識して丁寧に関わっていこうと思いました。

須藤聖美 三谷梨緒 高田奈沙

ねらい：「お友達とたくさん遊ぶ中でお友達の思いも知る」

う た：「ドレミのうた」

7月に入り楽しみにしていたプールが始まりました。プールでは顔に水がかかることも気にすることなく水を掛け合ったり、トンネルをくぐったりと楽しんでいます。

お祭りごっこではお兄ちゃんお姉ちゃんに教えてもらったり真似したりしながらお店屋さんやお客さんの役を楽しんでいます。「何個ですか?」「何がいらしますか?」と上手にやり取りをしながら遊んでいます。



紙を染めてみよう

皆で色水を作ってわしをつけてみることにしました。

初めは小さく切った紙を青色の色水につけてみましたがあまり色がつきませんでした。想像と違ったようで「あれえ?」という反応。次は紙をしわしわになるように丸めてから広げ色水につけて見ました。するときれいに水色に染まり、「できた」と嬉しそうに見せてくれました。皆しわの入り方が違うので様々な模様が出来ました。全員が青色で染め終わると「次は赤色がいいな」という子どもたちの声から赤色にも染めてみました。紙をつけて「1,2,3、・・・10」と数えると綺麗に染まり大喜びでした。赤色と青色に交互に付けてみたりと子どもたよくちは興味深々でした。紙だけではなく布や紐などどれがよく染まるのか遊び新たな発見につながっているように環境をつくっていきたいと思います。



水の通る道を作りたい

じゃぶじゃぶ池の狭い道に玩具の道を並べ始めた子どもたち。ポンプの水を出す人、道を見る人に分かれて真剣な表情で水の流れを見つめていました。お水を流してみた所なぜか納得の行かないような表情を見せる子どもたち。「なんかできない」と玩具の道と道の間に隙間があり上手く流れなかったことが嫌だと教えてくれました。担任が「ちょっと隙間あるね」と一言声をかけると線路をつなげるようにぴたっと合わせ道作りが再開しました。今度は上手く流れましたが次は砂場に水が流れるようにしたいと考えているようです。坂道になってしまうので中々上手くはいかないようで奮闘しています。



“担任の思い”

いぶき組みに関わらずいろんなお友達と遊ぶ姿をみると嬉しく思います。8月はお友達と関わる中でお友達はどう思っているのかな?自分が同じ立場ならどう思うかな?など少しずつ一緒に考えていけたらと思います。生活していく中でお友達にも思いがあることを知り「手伝ってあげたい」や「声をかけてあげようかな」などの思いやりにも繋がっていくと嬉しいですね。

ランチルームで行うゲーム(猛獣狩り・マットからマットにお手玉をお引越し)やリズム遊び(楽器でリズムの真似っこ・ピアノに合わせて身体を動かす)などの時間も楽しみにしているお友達が多いので簡単なルールのある遊びをたくさん取り入れて一緒に遊んでいきたいと思っています。 足立 真裕子

ねらい：「人の目を見て話す、聞く」

う た：「にじのむこうに」

園庭で遊んでいると汗ばむ日が続くようになり、子どもたちが待ちに待っていたプールも始まりました。7月では土や水、様々な自然を通して夏を楽しむことができるように、ダイナミックな遊びも取り入れてきました。プール遊びもその中の一つですが、いまでは体育遊びの先生に「とっても水慣れしていますね。びっくりしました。」と言われるほど、ダイナミックに遊んでいます。

8月もたくさんの環境に触れながら、興味のあることを伸ばしていきたいです。

“トマトができたよ”



先日、みんなで大事に育ててきたトマトをやっと収穫することができました。みんなとても楽しみにしていたようで、収穫したあとも一つひとつ丁寧に洗って、ワクワクドキドキした様子でした。みんなで輪になり、赤いトマトと黄色いトマトと一緒に収穫できたので、どちらも一つずつ切り、中身を見ると「赤くなってるよ!」「こっちは中も黄色!」と大喜びでした。ひとり一つずつ小さく切ったトマトを手のにせて「いっせーのーで!」で一緒に食べました。「あまいねー!」「おいしい!」「ほっぺが落ちちゃいそう!」「ほんと!ポロンて落ちちゃう!」とみんなそれぞれとっても嬉しそうで、普段トマトが苦手なお友だちも嬉しそうに食べてくれました。

「いっせーのーで!」で一緒に食べました。「あまいねー!」「おいしい!」「ほっぺが落ちちゃいそう!」「ほんと!ポロンて落ちちゃう!」とみんなそれぞれとっても嬉しそうで、普段トマトが苦手なお友だちも嬉しそうに食べてくれました。



“お祭りごっこ”

7月2日にみんなで盆踊りやゲームをして楽しんだ七夕まつりがおわると、焼きトウモロコシやポテトを作るお祭りごっこが始まりました。法被をきるとお店の人、浴衣を着るとお客さんに大変身です。「いらっしゃいませ!ご注文は?」「なににしようかな。トウモロコシはおいくらですか?」など、子どもって本当によく見てよく聞いているなあ、と思うほど上手に会話しながらりきっています。そこからお金を作る人、チケットを作る人、看板を作る人、電話で注文する人、

配達する人など、今どんどん遊びが広がっています。ごっこ遊びを通してだいちゃんやいぶきさん、いろいろなお友だちと関わりながら楽しんでほしいです。

“担任の思い”

7月から本格的につぼみぐみへのお手伝いが始まりました。はじめは興味のあるお友だちだけ順番にしていたのですが、一度クラスで話すとクラス全体でしたいということになり、2人組になって順番にお手伝いに行くことになりました。つぼみぐみのお友だちのおやつが終わるころにお部屋に行き、一緒に遊ぶのですが、ひかりぐみの子どもたちにとって今まで自分たちがお兄さん、お姉さんにしてきてもらったことを今度は自分たちがする番になるので、どうやって一緒に遊んだらいいのか考えながらも積極的に関わろうとする姿も見られるようになりました。まだお手伝いの機会をもたなくてもいいかなと考えていましたが、小さいお友達と積極的に関わる姿をみてうれしく思います。これから一緒にお散歩にいたりなどどんどん関わる機会が増えてくると思いますが、異年齢の関わりの中でしか体験できないことをたくさん経験してほしいです。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「夏の生活の仕方を知り、健康に過ごす」「水に親しみ、自ら楽しむ」

う た：「きっとできる」

暑さにも負けず、毎日せみ獲りに夢中な子、テントの下で暑さを凌ぎながら友だちとおしゃべりを楽しむ子、めばえ・ふたば組のお友だちが可愛くてたまらずにお手伝いに向かう子など、園庭で過ごす姿も様々です。

プールあそびが始まり火・水・木曜日は午睡をするようになりましたが、遊び疲れてぐっすり眠る子も多いです。体調管理に気をつけて過ごします。

8月も水あそびを引き続き楽しみながら、少し苦手なことにも挑戦出来ればと思います。



“まつほちゃんとお別れ”

7月27日、ザリガニのまつほちゃんが亡くなりました。2日ほど前から動かなくなった事に気付いていた子もいましたが、特に子どもたちから声は上がりず…「今日のザリガニ当番、誰だろう」とだけ声をかけました。そして当番の子が水替えをする時に「まつほちゃんが動かないよ」と伝えに来てくれました。まつほちゃんを中心に園庭のつき山に集まっただいちさん。「だいちさんには、難しかったのかな…」と担任が呟くと、「うん、難しかった」とすぐに答える子もいました。「うん…お世話がたいへんだったかもしれない」きっと子どもたちの正直な気持ちかもしれません。次にAちゃんに尋ねると同じように答えていましたが、涙をこらえているような表情を浮かべていました。

しかしこれではだいち組全員が“飼わなければよかった”“ぼくたちには無理だったんだ”という思いで終わってしまうと思い、まつほちゃんの気持ちを想像できるように声を掛けました。マリオたろう(以前一緒に暮らしていたザリガニ)が居なくなった後のこと、一人ぼっちで水槽の中にいたこと、きっとみんなが気付いてくれるのを待っていたこと。するとBちゃんが「今からはもうお世話してあげられない。」Aちゃんが今にも泣きだしそうな顔をしていたため、「Aちゃん、悲しくて悔しかったのか」と声を掛けると、一気に涙があふれ出しました。

今まで生き物が死んでしまう事にさほど取り乱していなかっただいちさんでしたが、Aちゃんの涙から周りの子も声を出して泣いていました。最後にどうするかだいちさんで決める事になり、「埋めてあげよう。でも、アリのいない所に。前、たろう食べられてたから…」と話していました。みんなでさといもの側を選び、C君が中心となって穴を掘っていましたが、悲しむAちゃんの姿を見て「ほら、Aちゃん先にまつほちゃん入れてあげていいよ」とそっと手のひらにのせてくれました。Aちゃんは泣きながらもまつほちゃんを穴に埋め、周りの子も土をかけてあげていました。とても重く、悲しい出来事でした。

“メロンを育ててみたい”

かぼちゃを育てているだいちさん、お部屋で図鑑を見ている時にふと「次に育ててみたいものある？」と尋ねてみました。すると「あ、メロンもいいね」と声が上がると、丁度担任がメロンの種が手に入る機会があったため、「そうしたら今度、メロンの種をもって来るね」と約束をしました。

約束をしたことはとてもよく覚えていますね。その日から「ねえ、今日は種持ってきた？」「いつくらいになる？」「いまだどこにあるの？」と気にかけていました。金曜日、ついにメロンの種を持って来ると「おお〜」しかし本当に芽は出るのか…担任も半信半疑のまま調べたとおりに植え、ビニールで覆ってお家作りをしました。「次は月曜日にみんなで見ようね」「えー土曜日にくるから見てもいい？」「でもみんな見たいから月曜日にしようよ」と盛り上がり、約束の月曜日になりました。中央にメロンのおうちを置き、輪になって集まりました。じっと息をのんで「さあ、開けるよ…」「うん…」「いち、いの、さん！」「わあ〜！！」そこには長く育ったメロンの芽がいくつも伸びていました。そしてメロンの芽を見ただいちさんの表情と聞いたら、もう目が輝いていました。

そこからはメロンの芽が太陽に向かって伸びることを知ったり、メロンの葉を食べるウリハムシ対策をみんなで考えたりと、だいちさんのお世話の甲斐もありぐんぐんと育っています。メロンの苗を一つ一つ植え替える作業は、園庭あそびの中で数人ずつ声を掛け手伝ってもらっています。植木鉢の下には軽石を敷くことや、水やりは涼しい時間にすることが良いこと等もよくしていますよ。

かぼちゃに合わせてメロンの成長も、お楽しみに！



“担任の思い”

子どもたちの「生き物を育てることは難しかった」「でも守ってあげられなくてごめんね」という気持ちがひしひしと伝わってきました。今のだいちさんにとっては生き物だけでなく、栽培という違った形で命に触れることも一つかもしれません。子どもたちの興味を持っている“実のなる植物”からヒントをもらい、どんどんとあそびが繋がっているところです。育てることの難しさや大変さを経験しただいちさんにとって、栽培を通して育てる楽しさや喜びを味わうことも必要なのかもしれないと感じています。

保護者の方からのおはなしコーナー

どんどんおしゃべりも上手になり、最近は「もっかい」と両指の人差し指を立てて絵本を何度も読んでとお願いするように。

こちらの言っていることもだいぶ理解しているように感じます。入園時ずっと泣きっぱなしだった頃が嘘のように、今では「保育園行く人ー？」と聞くと笑顔で手をあげてくれます。いろいろな成長ぶりを見せてくれるので毎日が驚きと楽しみでいっぱいです。

めばえ組 まりなさん

いぶきさんになって、ますますおしゃべりが上手になった娘。でも、かわいい言い間違いも…。

よーいスタート！→よーいスカート！

キッチン→チキン

きゅーぱみゅぱみゅ→きゅーぱむぱむ などなど…間違えながらも毎日園での出来事を一生懸命話してくれるので、楽しく聞かせてもらっています。

いぶき組 りこさん

乳児のころからあまり食に興味のない娘で、家でも似たようなものばかり食べています。けれど、最近保育園で食べて美味しかったものをリクエストしてくれるようになりました。

まだまだムラもあるし、たまにリクエスト間違いもありますが！！先生たちの協力のお陰だなと感謝です。

ひかり組 とよこさん

毎日とても楽しそうに通っています。

先生もお友達も大好きで、よく保育園での出来事を話してくれます。

2年間だけでしたが、転園できて、ひかり、だいちとたくさんの楽しい思い出ができて、毎日いい笑顔を見ることができて、本当によかったです！

だいち組 えみこさん

毎日、朝と帰る時に“ゴロン”と寝転んで、カメルくんに「おはよおー」と「バイバイ」をしています。

また、お部屋のおもちゃもお気に入りでお迎えに行っても離さずにずっと遊んで、「みてえ〜」とおもちゃを見せてくれます。

ふたば組 ともみさん

せみが鳴き始まる少し前のある日の登園中、せみの羽だけを拾い、保育園へ持って行きました。するとおりがみでせみを折り、そこに羽をはりつけて、素敵なせみが完成していました。

子どもならではのアイデアにほっこりさせられた瞬間でした！！

だいち組 みきさん

保育園で迎える5回目の夏。以前は人の多さにパニックになって大号泣だったのに、今年の夏祭りではちょっと照れながらも楽しそうに踊ったり、たくさんのお友達と楽しそうに交流していました☆普段もいろいろ先生のお手伝いをしたり、お友達のケンカの仲裁に入ったりして、園では率先して“おにいに”しているようで、みなさんにいっぱい成長させてもらっているな、といつも嬉しくなります。

ひかり組 さなえさん

～お台所から～

本格的に夏になりましたね。短い夏。セミの声を聞きながら、夏を感じていきたいです。さて、夏には美味しい食材がいっぱいありますが、その旬もすぐに終わってしまいます。夏ならではの美味しい食材をたくさん食べて元気に過ごして欲しいと思います。

7月の食育活動の様子

・とうもろこしの皮むき（つぼみ組）

白いとうもろこしの皮をむいてくれました。このとうもろこしは生でも食べられるよ！とうと・・・むくより食べるほうに夢中にながらも無心でむいてくれました。

・えんどう豆のさやむき（いぶき組）

えんどう豆のさやを見せてあげると、集中してずっとやっている子もいれば生のえんどう豆は固くてすぐに飽きてしまう子もいました。でも、食べる時にはみんな「僕・私が剥いた豆やで」と言いながら食べていました。

・ゴーヤの種とり（ひかり組）

ゴーヤに興味津々でした。匂いを嗅いだり、ぶつぶつを触ったりしていました。ひかり組のお友達はゴーヤの種を園庭に植えるぞ！と言ってゴーヤの種を植えてくれました。

その日のゴーヤチャンプルーでは苦戦しながらも食べてくれていました。

・焼きとうもろこし（だいち組）

とうもろこしの皮をむいて、カいっばいに手で半分に折っていました。とうもろこしのひげは一粒に一本はえているのだよと言うと関心しながらむいてくれました。

おやつ時間に自分たちで剥いたとうもろこしをホットプレートの上で転がしながら、お祭りの半被をきてとうもろこしをみんなに配ってくれました。

・きゅうりの浅漬け（だいち組）

その日の給食にできるきゅうりの浅漬けを作ってもらいました。

新鮮なきゅうりをみんなでもみもみしながら美味しい浅漬けが出来ました。職員にもとっても好評でした。

その他にも、大きな冬瓜をこどもたちに見せたり常に子どもたちが食材に触れる機会をつくることを意識しながらすごしています。これからもたくさん食材に触れる機会を提供していきたいと思います

8月の献立 旬の野菜

とうがん	オクラ	なす
トマト	きゅうり	ピーマン
モロヘイヤ	かぼちゃ	ずいき

きゅうりの浅漬け



とうもろこしの皮むき



枝豆のさやむき



8月に予定している食育活動

- ・焼きとうもろこし（幼児）
- ・アイスクリーム屋さん（幼児）
- ・ずんだ団子（だいち）

他にもお誕生日会のケーキにのせるミントを取って来てもらったり、ホットケーキをおやつ時間に焼いたりしたいと考えています。



実習生が入ります

- 8月2日～13日 関西学院大学の学生 3名
17日～27日 神戸女子短期大学の学生 1名
- 8月1日～5日 兵庫栄養専門学校 of 学生 1名
22日～26日 兵庫栄養専門学校 of 学生 1名

こんなことしたよ♪

7月2日(土)七夕祭りを楽しみました。みんなで盆踊りを踊ったり、ゲームをしたりと大盛り上がりでした。盆踊りでは、ひかり、だいち組のこどもたちはやぐらに上がり踊りました。これまでの練習の成果を発揮し、みんなとても楽しそうに元気いっぱい踊っていました。そして、今年はダンディタイムのお父さんによる貝殻アートも大人気でした。新メニューのパンを食べたり、宝つりにボールプール、そしてお化け屋敷と様々なコーナーに子どもたちも大満足な様子でした。準備から片づけまでのお手伝いありがとうございました。保育への協力も頂きありがとうございました。



13日(水)には大きな竹を使ってそうめん流しをしました。お父さんにお手伝い頂き、大きな竹を組み立て、本格的なそうめん流しに子どもたちはびっくりな様子でした。だいちさんは竹のお箸で、つぼみ組は手でそうめんをつかみました。しかし流れてくるそうめんに苦戦し、中々うまくつかめない子も…。

自分で掴んだそうめんはやはり格別だったようで、みんな夢中になって食べていました。お手伝いいただいた保護者の皆様、また、松秀幼稚園の園長先生、竹のプレゼントありがとうございました。



★お願い★

- 8月10日(水)～17日(水)は、夏期保育となります。できるだけご家庭での保育をお願い致します。お仕事がお休みの方は子どもたちとゆっくり過ごす時間を持ってください。

〈夏期保育のお知らせ〉配布しています。ご記入の上、提出をお願いします。

13日(土)の昼食メニューは簡易給食となります。

- 6、7月に歯科、眼科、耳鼻科健診を行いました。疾患や再検査が必要なお子さまは、できるだけ早めに受診をして、用紙を園に提出して下さい。
- プールあそびは、火、水、木曜日です。夏期保育期間中はプールを行わない日もあります。プールの日以外でも、どろんこあそびやシャワーを行いますので、着替えやタオルを常時ご用意下さい。



8月の予定

- 3日(水) 絵画
- 5日(金) 同園会
- 9日(火) 誕生日会
- 24日(水) 月例健診
- 31日(水) 絵画

9月の予定

- 1～9日(木～金) 敬老週間
- 13日(火) クラルテの人形劇観賞
- 28日(水) 全クラスお弁当日
めばえ・ふたば「親子であそぼう」
- 30日(金) 巡回指導